

会議録

会議名	令和4年度 第2回知立市総合公共交通会議
日時	令和4年10月28日(金) 午前10時00分～12時00分
場所	知立市役所 3階 第2・3会議室
次第	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1) ミニバスの利用状況について 【資料 1-1～1-2】</p> <p>(2) 夏休み期間中の中学生の利用状況について 【資料 2】</p> <p>4. 協議事項</p> <p>(1) 住民懇談会の開催について 【資料 3】</p> <p>(2) 地域公共交通網形成計画の中間評価について 【資料 4-1～4-2】</p> <p>(3) 地域公共交通網形成計画の変更案について 【資料 5】</p> <p>5. その他</p> <p>6. 閉会</p>
資料	<p>・次第、委員名簿、座席表</p> <p>・事前配布会議資料</p> <p>・当日配布資料:ミニバスガイド、ミニバスガイド Plus+、「my route」チラシ</p> <p>ミニバス de お出かけ モデルコース</p>
出席者 《 》は 代理出席者	<p>【委員】 山崎委員 ((公財)豊田都市交通研究所主幹研究員)</p> <p>潮田委員 (愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長)</p> <p>大野《上原》委員 (名鉄バス(株)運輸本部首席交通企画官)</p> <p>花村《内藤》委員 (名古屋鉄道(株)地域活性化推進本部交通サービス担当課長)</p> <p>永井《茶谷》委員 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事)</p> <p>磯貝委員 (知立市身体障害者福祉協議会副会長)</p> <p>堀 委員 (知立老人クラブ連合会相談役)</p> <p>水澤委員 (知立市区長会(八橋町区長))</p> <p>岩城委員 (知立市商工会女性部長)</p> <p>山田委員 (公募市民)</p> <p>岡田委員 (公募市民)</p> <p>山内《堺》委員 (中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>大林《八木》委員 (愛知県都市・交通局交通対策課担当課長)</p> <p>林 委員 (愛知県知立建設事務所維持管理課長)</p> <p>高木委員 (知立市都市整備部長)</p> <p>近藤委員 (知立市土木課長)</p> <p>【事務局】 都市整備部まちづくり課</p>
欠席者	<p>【委員】 小林委員 ((公社)愛知県バス協会専務理事)</p> <p>小川委員 (愛知県安城警察署交通課長)</p>

内容(概要)

1. 開会

(司 会) 定刻となりましたので、ただいまより令和4年度第1回知立市総合公共交通会議を開催いたします。

本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議出席者は16名で、全委員18名の過半数を超えておりますので、会議は成立していることを報告いたします。それでは、会議に入ります前に、資料の確認をお願いいたします。

本日配布させていただきました「会議次第」、「総合公共交通会議委員名簿」と「座席表」の両面のもの、「ミニバスガイド」に「ミニバスガイド Plus+」を挟んだもの、「my route」のチラシ、「ミニバス de お出かけ モデルコース」、事前にお送りしました「令和4年度第2回知立市総合公共交通会議資料」です。お手元にごございますでしょうか。

また、本日は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から極力時間短縮に努めて進行させていただきますのでご了承いただきますようお願いいたします。それでは、はじめに林市長よりご挨拶申し上げます。

2. あいさつ

(市 長) 【市長あいさつ】

(司 会) 本日は福祉有償運送を担当する長寿介護課の担当者、中間評価の業務を受注しております国際開発コンサルタンツの担当者が同席しておりますので、ご承知おきください。

今回の会議では報告事項2件、協議事項3件のご審議をお願いします。市民の皆様にとってより便利なミニバス運行ができるよう、さらに協議を重ねていきたいと考えておりますので、委員の皆様方には、ご協力いただきますようお願いいたします。それではここからの議事進行は、議長の山崎会長に交代させていただきます。山崎会長、よろしく願いいたします。

3. 報告事項

(議 長) 皆さん、おはようございます。ご指名にあずかりました公益社団法人 豊田都市交通研究所の山崎でございます。大分過ぎしやすい時期になり、高齢者の方々が外に出られる季節になってきています。このタイミングで利用促進をしっかりと図っていただければいいと思います。また先ほどの市長のお話にありましたように、名鉄本線の豊橋方面側が高架になるということで、半分でも高架になっていると踏切の遮断する時間が半分になります。知立市内においては、踏切による渋滞は深刻な問題になっていきますので、いい方向に進むと思います。三河線も知立駅の高架により、色々とよくなっていく部分があると期待しています。知立は交通の要所でありますので、市内を走るミニバス、名鉄バス、タクシーを市民のために上手く活用していけるようになると思います。

知立市は地域公共交通網形成計画に基づいて、利用促進や整備を進めております。今年度はその中間評価をしていくということで、そのあたりを皆さんにご審議いただきたいと思っております。

では、次第に沿いまして、3. 報告事項(1)「ミニバス利用状況について」を事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料1-1~1-2に基づき説明】

(議長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。
7~8割まで利用者が戻ってきており、去年に比べると利用者が増えているという状況が報告されました。気を付けなければいけないのは、令和元年においては、2~3月あたりからコロナの影響が出始めています。9~10月にかけて利用者が大幅に減少していますので、令和元年と比べるとときにこのあたりをきちんと押さえておかなければいけません。この9~10月の減少についての説明を事務局お願いいたします。

(事務局) 令和元年10月からダイヤ改正を実施しており、3コースを除く4つのコースで1便ずつ減便しております。そのため利用者数が9~10月にかけて減少している状況です。

(議長) 当時会議のメンバーだった方は覚えてみえるかもしれませんが、渋滞によりダイヤがギリギリになってしまっているので、運転手の負担を減らすことを目的として便数を減らしました。便数を減らすと利用者は減少します。令和元年と比較する際に、9月までは便数が多かったということを、常に事務局側は意識しておいていただきたいと思います。
他にご質問はありませんか。では、続きまして(2)「夏休み期間中の中学生のミニバス利用状況について」を事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料2に基づき説明】

(議長) 今年も夏休み期間中の中学生の乗車キャンペーンを実施されたという報告でした。
ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。

(委員) 計画策定時がどうであったか忘れてしまったのですが、中学生の乗車キャンペーンの認知度をとられていますが、どういった取り組みをされたか教えてください。

(事務局) 校長会議にて先生方への周知を行い、夏休み前に生徒向けのチラシの配布をお願いしております。

(委員) 中学生と親世代の認知度が高いということでしたが、残りの世代の認知度が低いのは当たり前だと思います。

(事務局) 広報には掲載をしていますが、中々他の世代の認知度はあがりません。アンケートをとった10代は、15歳以上の方となりますので、キャンペーンを経験された卒業生ということにはなりません。

(委員) こういった取り組みを実施しているという、市としての方針を知っておいていただいたほうがいいのであれば広報等で周知する必要もあるかと思いますが、どの世代を対象に認知度を上げるのかということもあるかと思います。

(事務局) 確かに対象を絞っていく必要はあるかと思います。現状では、広報や LINE においても周知をさせていただいております。

(委員) 公共交通を将来使っていただく前段階でこういった取り組みをしているということ、他の年代の人にも知っていただけるといいと思います。

(議長) ありがとうございます。市の政策として実施している事業を PR することで、バスそのものを対象となる中学生の方以外の世代にも知っていただくのは大事であると思います。こちらの認知度は単独で計画の指標にはなっていません。色々な事業の認知度を集計した結果、評価していくということになります。卒業した後、バスを認知して使ってくれるかということを一度調査できるといいと思います。

(議 長) 他にご質問はありませんか。それでは引き続き、この事業は実施していくということでお願いいたします。
ここからは協議事項に入ります。最初に、「住民懇談会の開催について」事務局より説明をお願いします。

4. 協議事項

(事務局) 【資料 3 に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明に関しまして、ご意見・ご質問がありましたらよろしくご願ひいたします。

(委 員) バスの記載ですが、行きだけではなく帰りも記載していただいたほうが良いと思います。また、掲載されている時刻はクラウンパレスの到着時刻ですか。

(事務局) グリーンコースはクラウンパレスの到着時刻ですが、それ以外のコースは知立駅の到着時刻となります。

(委 員) この表だとわかりにくいです。

(事務局) 検討させていただきます。

(議 長) 市民の方はご覧になられていかがですか。

(委 員) わかりにくいです。また、帰りのコースがわからないのも不安です。

(議 長) これですと、ブルーコースは知立駅に到着してから会議が始まるまでにあまり時間がありません。また、この資料は今回の会議のための企画書で、参加者を募るチラシは別につくられるということですね。

(事務局) 広報や LINE に、チラシをつけて周知をするということになります。

(委 員) 障がいがある人では、駅から歩くのには時間がかかってしまうので、クラウンパレスの到着時間を書いていただいたほうが良いです。

(議 長) クラウンパレスのバス停はグリーンコースしかないのですね。少し工夫が必要かもしれません。一度乗ってみてくださいと PR することは大事なことですが、難しいですね。

(事務局) 色々と検討させていただきます。

(議 長) 告知の仕方については事務局にて工夫をしていただくとしまして、住民懇談会を開催することに関しましてご審議いただきたいと思ひます。ただいまの事務局の案に関しまして、承認していただける方は挙手をお願いします。

(委 員) (全員挙手)

(議 長) ありがとうございます。挙手全員で「住民懇談会の開催について」は、承認いただきましたので、事務局で準備を進めていただきたいと思ひます。

次に(2)「地域公共交通網形成計画の中間評価について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料 4-1～4-2 に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明に関しまして、ご意見・ご質問がありましたらよろしくご願ひいたします。

(委 員) 9ページの基本方針 I についてですが、2026年に向けて取り組みを実施されていかれると思ひますが、2022年現在で目標を達成しています。2026年の目標値を26.9%以上に変更すべきではありませんか。

(事務局) こちらは現在の施策で結果が出ているということになるので、今後も引き続き継続させていくことが重要であると思ひます。これまで実施してきたことについてもリニューアルをしていくことも考えていますので、目標値としてはこのままにしたいと思ひます。

- (委員) 各事業を実施して2026年に26.1%になった場合、達成したという結果になりますが、この5年間では減少したことになります。少なくとも目標値を26.9%にして現状より下げないということに変えないといけないと思います。
- (事務局) 計画当初に決めた施策は間違っていないということが今回の結果になります。
- (委員) 2026年の結果が26.1～26.9%の間であった場合、評価は「○」にするのですか。
- (事務局) そうなります。
- (委員) しかし、2022年からは悪化しています。
- (事務局) 策定当時から続けていくことが大事なので、今回目標値をあげる必要はないと考えます。今まで我々が実施してきた事業の結果が出ているという認識です。
- (委員) 今のまま維持していけば、何もなくていいということですか。
- (事務局) 同じことを続けていく部分もありますが、効果があるものかないものを確認しながら改善等を行っていきます。
- (委員) 改善した部分の効果が出ているかどうかの評価はどのようにみるのですか。
- (事務局) 中間評価では目標を達成していますが、それは今後施策を続けるほうがいいのか、変更したほうがいいのかということを判断するための評価となります。結果が出ている部分については、継続していいという判断となります。
- (委員) 例えば継続したとして、今度のアンケート結果が26.2%になった場合はどのように評価をされますか。
- (事務局) それは2022年から2026年までに実施した事業の評価となります。
- (委員) そうなった場合には、評価は「○」にするのですか。
- (事務局) 計画策定時に定めた目標からすると、「○」になります。
- (議長) 事務局から説明があったように、計画の最終目標として数値を掲げています。色々な評価指標があり、その一つ一つをどうするというのを考えると難しい部分があります。今回評価指標として様々なものをあげていますので、総合的に判断していく必要があります。事務局からの説明で、アンケートは対象者が変わってくるので、バラつきが出るという説明がありました。そういったところが背景にあるので、あまりギシギシやりすぎないほうが良いと思います。確かに新たな目標をたてるやり方もありますし、下手に目標をあげてしまって次のアンケート結果がどうなるかという不安な面もあります。そもそも利用されていない方も多いアンケート結果です。今の議論に対してのご意見はございませんか。
- (委員) 利用されていない方も多いので、皆さんに知っていただくにはどのようにしたらいいのかということ而努力されていくことになると思います。そのためにも少し目標を上げてもいいと思います。また、モデルコースを見て利用される方もみえると思いますので、認知度は今後増えると思います。ですから現状維持を目標にしてはいけないのではないかと思います。
- (議長) 他にはいかがですか。
- (委員) 目標値の設定ですが、策定当時の設定が26.1%以上で、目標値も同じとなっています。この時は現況の水準で良く、そこから上がればなお良いという形で策定されたと思います。その目標を設定された背景を教えてください。
- (議長) 目標設定の考え方について事務局お願いします。

- (事務局) 目標設定をした当時、公共交通自体がこれからどうなっていくか、地域によっては衰退していくということが懸念されていました。市としましては、知立市の公共交通を確実に現状を維持するという大前提とし、策定当時の満足度以上を目指すということから目標値を設定しました。目標値はあくまでも最終目標ではありますが、計画において12ページ以降にあります施策が非常に重要であると考えております。施策の中には新たにチャレンジしたのものもあります。今回中間評価となりますので、状況を確認させていただいたということになりますので、これ以上のものを目指して事業を行っていきたいと考えております。
- (議長) 事務局から考え方について説明がございました。
- (委員) やはり今後5年間取り組んで、中間評価より下がった26.1%以上の取組で「○」にしていたら、おかしいのではないかと思います。
- (事務局) 現状維持が大前提で、各施策を継続していくか、改善していくかという判断をするのが今回の中間評価となっております。今結果が出ているので、現在行っている施策は継続し、改善すべき点があれば改善していきます。現状では最終目標は変えませんが、満足度が下がったら、実施したどの施策が悪かったのかという評価も実施します。
- (委員) 2022年の数値より下がった場合は「×」として反省をし、次の計画策定時に盛り込むということにしないといけないと思います。
- (事務局) その評価は実施します。今回数値は上がったので、実施してきた施策としてはよかったという判断をしております。今後リニューアルしていく中で満足度が下がった場合は、リニューアルが悪かったという判断になります。そこについては改善すべきであったという評価をさせていただきます。
- (委員) その評価をする場合には、2022年の時は26.9%だったのに対して、どうだったかという評価をしたほうが良いと思うので、最終目標を26.9%に変えたほうが評価しやすいのではないかと思います。
- (事務局) すると26.9%まで上がったという施策が良かったということが残らなくなってしまいます。
- (委員) それは中間評価で目標値を見直したという履歴を残せばいいのではないのでしょうか。
- (事務局) それであれば、目標をかえなくてもそのままでもいいと思います。
- (委員) そのままだったら26.9%以下になった場合、問題や課題があるということを残すということですか。
- (事務局) 悪かった部分に関しては何が悪かったかという判断をしていく必要があると思っています。
- (委員) 今回、利用者数や認知度になると数値は悪くなっていて、満足度のみが上がっている状況ですので、それはなぜなのかという検証を入れるといいと思います。利用者や認知度は減少しているにもかかわらず満足度は上がっているのです、使っている人にとっては満足度が高いということになるので、使っている人の満足度を落とさないことが今後5年間の市の努力が見えやすいと思います。市が公共交通に力を入れて実施していくという姿勢をみせるのであれば2026年の目標を26.9%にすることはいいと思います。ただし、利用者等が減少している中で、バランスをとっていききたいという市の意向も理解できます。
- (議長) とてもいい意見をありがとうございました。単独の指標のみに注目するのはよくないので、総合的に見て考察する必要があるかと思います。他の市町で、計画の中間評価を実施する際に、アンケート結果を踏まえて目標値を変えるという事例はありますか。

- (委員) 4月から着任したばかりなので、事例を確認させていただければと思います。また、先ほど減少していると説明のありました利用者数も現況値から乖離してしまっています。コロナ禍によって生活様式が変わってきているので、こちらの数値も併せて変更するということも考える必要があるのかと思います。それを踏まえて公共交通満足度が上がるような取り組みをし続けるということで、今回の中間評価時に変更点を残せば策定当時との違いもわかると思います。
- (議長) ありがとうございます。ご指摘があったとおり、コロナにより計画期間中に世の中が大きく変化してしまったことにより、他の指標も大きく変化してしまいました。ということであれば、他の指標も含めて目標値を中間評価で見直すというやり方もありだということです。一方で、他の自治体でもされていますが、中間評価では当初の目標値は変更せず、最終目標年次での評価を中間評価での結果も踏まえて総合的に評価していくということであれば、委員からのご指摘も満たすことができるかと思います。パターンとしてはこの2つだと思いますが、事務局いかがですか。
- (事務局) 我々としては、目標値は当初定めたものとし、中間評価で得た結果と最終評価時で総合的に判断させていただければと思います。
- (委員) 中間評価から最終までの取組みの反省と、今後につなげることが評価できるようになっていけばいいと思います。
- (議長) 満足度が最終評価時に26.9%より下がった場合に、きちんと考察を残すというようにしてください。他にご意見はありますか。
- (委員) 基本方針Ⅲにおいて、中間評価の数字が2016年より下がっており、アンケートの誤差だという話もありましたが、ある程度のアンケート数をとっていれば誤差が出るということではなく、取組としては何かが足りなくて数値が下がっているということになるかと思います。その部分の分析や反省がもう少しあるべきであると思います。
- 15ページでいろいろとご報告をしていただきましたが、基本方針Ⅰ～Ⅲにどのように関連していくのかがわかりにくいです。特に基本方針Ⅲに関しては数値が下がっていますが、どのような取組みをされて、何が不足しているのかということへの反省があるべきだと思います。また、15ページは今回のアンケート結果のみが掲載されていますが、策定時に同じアンケートはされていないのでしょうか。絶対数のみでは取組の効果についての評価ができません。
- (事務局) 今回下がってしまった基本方針Ⅲについては14ページの実施内容26～34が該当します。キャンペーン等を実施することにより、皆さんにバスの事を知っていただき利用につながればということで施策をあげております。前回のアンケート調査時には各施策の認知度をお聞きしていないため、今回比較することができません。今回のアンケート結果によってあまり認知度が高くないことがわかりましたので、改善していくこととなります。
- (議長) 今回のアンケートでどのくらい認知されているかということ調べて評価していったということです。15ページに載せているものは、特徴的なものを紹介していただいたということになります。他にご意見等ありますか。
- (委員) 12～14ページの取組みと、基本方針との関連性がわかりにくいので、記載方法を検討してください。
- (議長) 今後整理していただきたいと思います。他にいかがでしょうか。

- (委員) 基本方針Ⅲの認知度が減少傾向というお話でしたが、どの年齢層が減っているかというところまでは分析されてみえますか。
- (事務局) 今回はそこまでの分析はしておりませんが、今後検証していきたいと思います。
- (委員) どの年齢層が減ってしまったのかということがわかれば、施策の内容もどの年代をターゲットすべきかわかると思うので、是非結果をご確認いただきたいと思います。
- (議長) いいご助言をいただきました。もう少し細かい分析をしていただきたいと思います。
- (委員) 15ページに書いてある免許返納者・高齢者に対する取組のグラフで、65歳以上の方の認知度が非常に高いという結果になっていますが、工夫をされた点はありますか。
- (事務局) 後期高齢者になられた際に保険証と一緒にパスケースを発送することや、安心安全課にて免許返納後の手続きをしていただくことと併せて、今年度からミニバスガイド Plus+というチラシを作成し、配布しています。定期的に新たな媒体での周知を行っていきたくと考えております。
- (委員) ミニバスガイド Plus+を配布することにより、高齢者に対する取組の周知だけではなく、バスロケの利用方法等も記載されていますので、継続していただいて結果にも記載していただければいいと思います。
- (議長) 他にはいかがですか。
- (委員) 14ページの28. 主要バス停やバスロケを活用した観光案内・情報提供について、今回の策定期間の間では、知立駅の鉄道高架事業に併せて検討していくということで、高架事業が延伸したことにより事業内容の記載がありません。しかし、既にバスロケは導入されており、バス停に利用方法の掲示がされているので、まったく取組みをされていないというわけではないと思います。
- (事務局) こちらは時刻表にプラスしてバスロケの情報が目で見えるようになる、総合案内板の設置というものをイメージしております。ロータリーの整備が遅れることとなり、こちら事業の開始が遅れることとなります。
- (委員) 実際にバスロケに関して実施されていることを記載されてもよいと思います。
- (議長) 当初想定していたものとは違うけど、この部分に当てはまる取組みをされているということであれば、実施した内容として整理していただきたいと思います。
- (委員) バスロケは12ページの12番で記載しており、ハード面とソフト面で区別されていると思います。この資料を見るだけではハード面かということがわからないので、注釈をつけるなど工夫をされたほうが良いと思います。
- (事務局) 記載方法を検討させていただきます。
- (議長) ありがとうございます。整理するにあたって、どれが何を指しているのか明確にわかるようにしておいたほうが良いと思います。
- 本日こちらの中間評価については宿題をいただきましたが、今後中間評価の内容を会議で報告していくのは年度末になります。そのタイミングでは中間評価の報告書としてまとめられた状態になってくるということになりますので、今日いただいた意見を参考に中間評価の見直しを実施していくということで、最終的には年度末に今一度報告いただくということよろしいですか。
- (委員了承)

- (議 長) では事務局で進めていただきますようお願いいたします。また何か意見があれば、事務局にお願いします。それでは最後の案件、「地域公共交通網形成計画の変更案について」事務局より説明をお願いします。
- (事務局) 【資料5に基づき説明】
- (議 長) ただいまの説明をいただきましたが、運輸支局より補足がありましたらお願いします。
- (委 員) 地域間幹線系統補助という広域に跨るバスで、収支が赤字である路線について補助要件を満たした状態であれば国庫補助が出ている状況です。この補助要件の部分で、地域公共交通計画に補助事業に関する記載をする必要があります。今回の変更箇所①～④において、国庫補助の要件にあうよう変更をしていただくということになります。
- (議 長) ありがとうございます。計画策定時には、法律上では「網形成計画」という名称でしたが、その後活性化再生法が改正され、「地域公共交通計画」に名称が変更となりました。知立市としては、既に策定した「網形成計画」を「地域公共交通計画」として認めてもらうという形で補助金をいただくためには、追記等の変更をすることとなります。何かご意見等があればお願いします。
- (委 員) 17ページの図において、青色も緑色も生活交流路線となっていますが、これを見ただけでは違いが判らないので、凡例の部分で補助金の有無について記載していただいたほうがいいと思います。
- (事務局) 表現の方法を検討させていただきます。
- (委 員) 19 ページの変更点④については、今までなかった表を追加するということでしょうか。
- (事務局) この表自体を追加するということになります。
- (委 員) 利用者1人当たりの行政負担額とあり、ミニバス全体というのは何をあらわしていますか。
- (事務局) コースごとではなく、全体での状況をあらわしたものです。
- (委 員) この表記であると、1～5コース以外にも費用がかかっているようにみえてしまいます。
- (議 長) 人によってとらえ方は異なると思いますが、表記の方法を太枠にしてみる、網掛けにするなど表の作り方を検討していただければと思います。
- (委 員) 変更点④の表ですが、2コースと4コースの行政負担額が高い状況にありますが、この2つのコースは今後補助金が入るとある程度負担は下がるのでしょうか。
- (事務局) こちらはすでに補助金が入っている状況です。
- (委 員) 事務局からの説明で、緑路線については補助対象事業ということで、赤字で追記していただいているところですが、青系統についてあまり記載がありません。「サービス確保の考え方」欄において、緑系統の役割を記載していただけていますが、青色系統についても役割について記載していただきたいと思います。
- (事務局) わかりました。
- (議 長) 計画の本文をこのような形で変更していくということでございますので、皆様方のご審議をいただかなければならない案件です。ご指摘がいくつかありました、青系統・緑系統の違いをきちんと説明することや、青系統の役割を記載すること、少しわかりにくい表現の部分を修正いただいて、この計画の変更に関してご審議いただきたいと思います。計画の変更に関して承認いただける方は挙手をお願いいたします。

- (委員) (全員挙手)
- (議長) ありがとうございます。それでは、「地域公共交通網形成計画の変更案について」は議案どおり承認させていただきます。議題としましてはこれですべてとなりますが、出席されている市民委員の方にご発言をいただきたいと思います。
- (委員) 今日モデルコースの冊子をいただきましたが、以前からこういったものをつくってほしいとお願いをしておりました。各老人クラブの中で、中々人が集まらない状況になっています。こういったモデルコースを宣伝していけるとと思います。
- (議長) 少し字が小さいのですが、モデルコースはこのサイズで配布されているのですか。
- (事務局) 持ち歩くということを前提に作成しておりますので、こちらのサイズとなります。
- (委員) モデルコースのアピール方法を検討していただくといいと思います。
- (議長) 利用促進をがんばっていただきたいですね。
- (委員) コロナの関係で今後が不透明である中、同じ知立市民でも住んでいる場所でアンケート結果が大きく違うということを感じながら参加させていただきました。コースが短くなって本数が増えるといいとは思いますが、色々工夫をされていて公共交通が成り立っているんだということを実感しました。
- (議長) 市民委員で参加していただいていますので、こちらの会議の内容を周りの方にお話しただけるといいと思います。
- (委員) 市から資料をいただいて確認したうえで会議に出席させていただきましたが、本当に数字が多いので全部理解するのは難しかったです。知立のミニバスにたくさんの人に乗っていただいて認知していただけるといいと思います。
- (議長) こちらの会議は市民代表の方に出席していただいています。資料の作り方も今後工夫していただけるといいと思います。議題としては以上となりますので、進行を事務局にお返しします。ご協力ありがとうございました。

5. その他

- (司会) ありがとうございます。5. その他にはあります。
委員の皆さんからご意見・ご質問等がありましたらお願いします。
- (委員) 【「my route」チラシについて説明】
- (司会) ありがとうございます。他にはございませんか。
では、事務局より3点連絡事項がございます。
- (事務局) 【連絡事項について説明】
- (司会) ぜひ住民懇談会につきましては、周りの方お誘いの上ご応募いただければと思います。
ただいまの内容につきまして、ご意見・ご質問はございませんか。
それでは、本日の総合公共交通会議はこれで終了とさせていただきます。
本日は、お忙しい中ありがとうございました。

6. 閉会